北九州市立則松中学校

【学校ホームページアドレス】
www.kita9.ed.jp/norimatsu-j

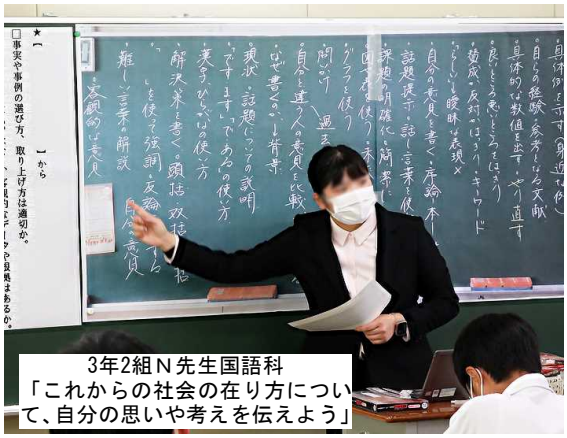
ジャガイモ

校長通信　No.２８１

令和５年１１月２０日

「　響～文化祭編①～　」

校長　江　口　　満

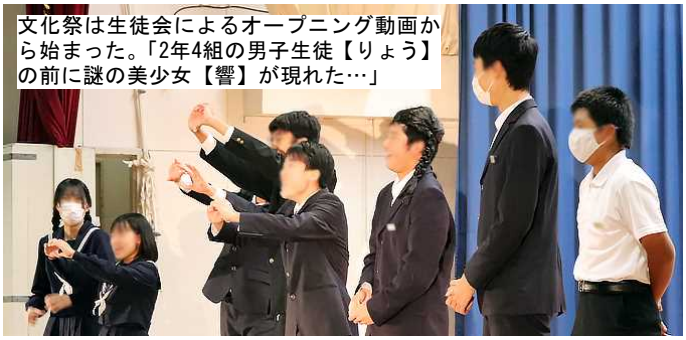


3年2組Ｎ先生国語科
「これからの社会の在り方について、自分の思いや考えを伝えよう」

10月31日(火)「学びチャレンジリーディングスクール事業」国語科公開授業の様子。国語科の授業を見るたびに、私は学生時代もっと国語を勉強しておけばよかったと後悔する。

校長通信「ジャガイモ」を発行するとき、いつも不安を覚える。自分自身の思いがこの文章で生徒の皆さんに伝わるのか、もっとよい表現があるのではないか、保護者の皆様に文章力のなさを笑われているのではないか、などと考えてしまうからだ。今から連載する「文化祭編」の文章も、実は半年前以上温めてきた。正確に言うと、８ヶ月前の３月卒業式の前日からだ。こう書いても何のことか読者の皆さんには全く分かりようがないだろう。いずれ書く機会があれば皆さんにも判明されよう。とにかく校長通信「ジャガイモ」を発行するたびに、もっと国語を勉強しておけばよかったと痛感するのだ。

もともと私が数学科教員であることと、保健体育科の免許を持っているが一度も教えたことはがないことは以前書いた。中学校時代の恩師曰く。「江口君が数学の先生になるとは思わなかった。美術か理科の先生かと思っていた」と。中学時代、確かに美術や理科の時間は好きだったが、数学を好きになったことはなかった。小学校時代の算数も計算練習をよくさせられたが、得意だった覚えもない。何となく６＋７や１３－７あたりが、今でもあまり好きではない。小学校5年生の時、恥ずかしながら算数の文章問題のテストで０点を取ったこともある。さすがにこの答案用紙を母には見せられないと思い、家の裏で燃やしていたら見つかってしまい、しこたま怒られた。失敗はやはり人生の宝だったなどと思い込むことにしている。



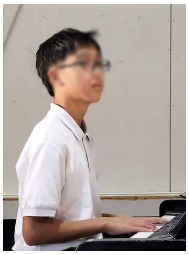
文化祭は生徒会によるオープニング動画から始まった。「2年4組の男子生徒【りょう】の前に謎の美少女【響】が現れた…」

転機が訪れたのは中学三年生の時だ。まず式の計算の「因数分解」との出逢いだ。「そもそも計算問題なのになぜ分解なのか。」と疑問を持ちながらも、計算の逆を数当てゲームのようにする作業に興味を覚えた。しかし「平方根」でまた意欲が下がり始めたが、「このままではいけない。踏みとどまれ。」と意を決して挙手をして発表した。そのシーンを今でも鮮明に覚えている。近似値を求める問題だ。しかし当時の数学の先生から、完全にスルーされた。今考えると正解ではないが、ややこしいやり方ではあるが間違いでは決してない。このスルーされたお陰で、数学科教員としての今の私がある。そう断定できる。私の心の中に、数学に対するほんの小さな炎が灯った。実際、数学科の教員になってから、自らの研究の原点となった問題でもある。【No.284に続く】

令和5年10月27日(金)文化祭。この日、私たちは「守破離」という時代の目撃者となった。(文化祭終了後の三年生の皆さん)

「初めての文化祭」
１年４組　Ｍさん

第一学年ステージ部門
リコーダー合奏「Biginner's Five」
合奏「Yes!!」



　初めての文化祭で、僕はパートリーダーになりました。僕にみんなをまとめられる力なんてあるのだろうかと思いましたが、もう一人のパートリーダーの川端さんと共にこの文化祭を成功させられてよかったです。練習では怒られることもありましたが、初めの練習からどんどん声が大きくなり、最後の練習ではみんな一丸となってきれいなリコーダーの音ときれいな歌声になり、本番を成功させることができました。

　僕たちの後に二年の合唱を聞いて、一年とは違うきれいな歌声で、来年には僕たちもあんな歌を歌わないといけないと考えると、心配になりました。三年生の合唱は二年生よりもきれいで、やっぱり三年生はすごいなと思いました。文化祭の少し前までは休みの人も多くてできるかもあやしかったけど、無事成功できてよかったです。

「緊張より楽しさの勝利」　１年２組　Ｙさん

　初めての文化祭で朝からとても緊張していました。「上手に演奏できるか。」「音をはずさないか。」ずっと緊張していました。文化祭が始まると、生徒会執行部の皆さんのおもしろいオープニングでたくさん笑いました。筝曲部の演奏や英語スピーチ、進路学習のプレゼン、放送部の朗読など、たくさんのステージがあり、どれもすばらしかったです。休憩の前に一度通してリコーダーと合唱の最後の練習をしました。そのとき平山先生が「顔が固いよ。この間のを思い出して。」と言ってくださり、少し緊張がやわらぎました。

　しかしいざ本番ステージに立ってみるとたくさんの人がいて、また緊張してしまいました。けれど今までの練習の成果を出し切るように、一生懸命に演奏したり歌ったりしました。ステージを降りると、「やり切った！」という達成感を感じました。私は、緊張よりも楽しさのほうが勝っていたのではないかと思います。その後、先輩方の合唱を聞いてにて、歌声がとてもきれいで感動しました。こんなすてきな文化祭を来年、またすることができるといいなと思います。

「合唱を通して繋がった心」　１年３組　Ｔさん

　待ちに待った文化祭、私はリコーダーのパート２でした。少し難しく、最初楽譜を見たとき「これはやばい…。」と思いました。放課後パート２だけ集まり練習がありました。リズムや指使いが全然わからなくて、「もう出来ないかも。」と思っていたけど、友達がすごくていねいに教えてくれたり、ふいてくれたりしました。仲間がいたおかげで、みんな一緒にリコーダーをふくことができました。そして特にがんばった「Yes!!」は、毎日練習して声が出ないときもあったけど、練習を日々重ねていくにつれ声を出せるようになり、一学年全員の一体感が感じられるようになりました。リハーサルのときに、すごく最高の演技ができ、本番でもさらにいい演技ができました。今回の文化祭を通してみんなの絆が深まり、一歩踏み出すことができたと思います。そしてなによりも「Yes!!」という曲にして良かったと思いました。「これが私、あなたの一生懸命」という歌詞や「一歩、一歩ふみだそう」と、この大成功の文化祭にあった歌でした。次は先輩方のように感動させられるような演技を二年生でしたいです。忘れられない思い出をみんなで作ることができてよかったです。

「文化の楽しさを知った今日」　１年１組　Ｓさん

　この文化祭で一番すごいなと感じたのは、三年生の合唱でした。きれいなハーモニーで歌を作り上げ、すばらしい合唱でした。一人一人が一生懸命に歌っていて、自分も体をゆらしたくなる優しい歌で、心が温まりました。二年生の合唱もすごく、親しみやすいやわらかい歌声で感動しました。先輩方のきれいな歌声が聞けてよかったです。自分たちも来年がんばろうと思いました。筝曲部三年生のきれいな音色で弾く龍星群はすごすぎて鳥肌がたつほど感動しました。

　そして練習を重ねて心を一つにして作り上げた一年合奏は、自分の中では最高だったなと思います。パートリーダーとしてみんなのことを支えてこられてよかったなとすごく思いました。これからは新しい生徒会執行部の人たちにしっかりついていけるようにがんばり、創立50周年という年で、今までの文化や伝統をしっかり次につなげられるようにしたいと思いました。